



地域

地域の皆さまとともに歩む
病院を目指しています！

地域医療支援病院として、地域医療機関との適切な役割分担と連携を促進

地域住民の安心を念頭に、地域医療支援病院として地域医療機関との適切な役割分担と連携を促進し、かかりつけ医療機関をはじめとした地域医療機関との連携を図り、地域に根差した医療の提供に努めています。

- ・紹介患者に対する医療の提供
- ・医療機器の共同利用の実施
- ・救急医療の提供
- ・地域の医療従事者に対する研修の実施



救急指定病院として24時間救急受け入れを実施

近隣住民や近隣の医療機関への健康セミナーを開催しています

近隣市町の一次検診事業および二次検診の受け入れています

災害救援自動販売機を設置し、災害時には避難者へ飲料の提供を行います

大規模災害の医療支援には
災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣しています

能登半島地震派遣 珠洲市内患者搬送

2016年4月熊本地震

熊本県熊本地方で震度7の地震が2度発生した熊本地震の際に、医療救援班として4日間活動しました。

2020年2月ダイヤモンド・プリンセス号

ダイヤモンド・プリンセス号で新型コロナウイルスの集団感染が発生した際、横浜港に停泊し検査が開始されました。病状の観察や病院への搬送等を2日間行いました。

2024年1月能登半島地震

石川県能登地方を震源とする最大震度7を観測する能登半島地震の際に、珠洲市内で8日間活動しました。



人

安心して治療を受けてもらうために
一人ひとりに寄り添います

患者さんの栄養不良改善への積極的な取り組み

管理栄養士による入院患者様の疾患や状態に応じた適切な栄養管理計画の立案、管理栄養士の各病棟配置により、患者様の栄養不良改善へ積極的な取り組みを実施しています。

また、毎週行われるチーム活動(NST、褥瘡対策、認知症ケア)では低栄養の患者様も多く、栄養不良改善の積極的な介入を実施しています。

環境を調整し、患者が安心・納得して療養生活を送れるよう援助

環境を調整し、患者が安心・納得して療養生活を送ることができるよう援助しています。

また、チーム医療の推進により、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続することができるまちづくりに参加しています。



- ・入退院支援センターの設置
- ・地域医療連携室の設置
- ・病棟ごとに地域医療連携室の担当を配置し退院支援・調整を実施

生活保護法指定医療機関として、適切な医療を提供

生活保護受給者の受診や入院について、福祉事務所と連携を取り受け入れを行っています。また、ソーシャルワーカーからの受診相談も受け付けています。



能登半島地震派遣 DMAT活動



働く人

職員が笑顔で働ける環境が
質の高い医療の提供へ

院内保育所を設置し、夜勤に対応した夜間保育の実施

ワークライフバランスを推進し、仕事と家庭の両立を支援しています

ハラスメント防止の研修を実施し、ハラスメントに対する相談窓口の設置

メンタルヘルス相談室の設置やストレスチェック結果に基づく産業医の面談を実施



地球

地球にやさしい取り組み
私たちも始めています！

照明の節電やセンサー式手洗いの導入

現在病棟の照明を順次LEDに変更しています。また、使用しないとき（お昼休み等）はこまめに消灯し節電に取り組んでいます。

また、仮設棟や病棟の一部ではセンサー式手洗いを導入し、節水にも取り組んでいます。



食品ロスを減らす取り組み

栄養管理科では委託給食会社と連携し、食事の締切り時間や発注管理の徹底により無駄な食品ロスを減らす取り組みを行っています。具体的には、入院患者様からの意見や毎日の残渣調査、年1回の嗜好調査を参考に、献立内容を定期的に見直すことで食品ロスの改善を行っています。

ペーパーレス化を促進し紙の使用量を削減

電子カルテシステムを導入し紙カルテの運用を廃止。ペーパーレス化に取り組んでいます。

また、院内会議では資料をデータで共有し、紙の資料配付を中止しました。

病院内で発生する廃棄物のリサイクルを推進

- ・古紙 15,550 kg
- ・缶 931 kg
- ・びん 661 kg
- ・ペットボトル 1532 kg

（2023年度実績）



未来

地域、地球、
そして次世代のために！

夏休み

ナガイレベン株式会社様の協力のもと

こども参観を開催しました！

育児に対する職場の理解や子育て支援を推進する目的で、職員の小学生の家族を対象に職場体験を行いました。



ナガイレベン企画プロジェクト「メディカルキッズプロジェクト」からこどもユニフォームを28枚無償貸与していただきました。



近年コロナで閉鎖的だった病院に、久々にこどもの声が響き渡り解放感あるにぎやかな病院イベントになりました。

こどもが親の仕事に関心を持つようになった



参加したこどもの保護者からの声

捕食や水分補給の時間が細めに確保され安心であった

参観の様子を作文にまとめ、夏休みの課題として提出した

スケジュール

- 8:30 集合 ユニフォームに着替える
- 9:50 病院紹介
- 9:30 病院見学
- 10:30 家族の職場潜入
- 11:30 おやつ時間、帰りの準備
- 12:00 終了

採用製品のコスト削減交渉や低コスト製品への切り替え

医薬品について、ジェネリック医薬品への移行を進めるとともに廃棄削減に取り組む



足柄上病院は2025年に開設75年を迎えます。地元の皆さまに親しまれ、愛されてきた病院として、今後も地域の医療を守り続けていきます。